

リユース経済新聞に券売機リユース事業が掲載されました

2024年10月25日(No.594)発行のリユース経済新聞に弊社の券売機リユース事業が、紹介されました。

弊社は今後もSDGsの理念に基づき、高品質で環境に優しいリユースサービスの提供に尽力してまいります。今後とも、皆さまからのご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

リユース経済新聞 https://www.recycle-tsushin.com/news/detail_10237.php

飲食店向け券売機の販売を行うエフ・エス(東京都新宿区)は9月、リユース事業を開始した。同社はマミヤ・オーピー(東京都新宿区)の100%子会社として、グループの電子機器事業とICT事業に携わる。リユース事業への参入は、電子機器事業の新事業という位置づけだ。 リユース事業で取り扱うのは、マミヤ・オーピー製券売機4種類だ。回収は券売機専用のサビ	エフ・エス 券売機のリユース 飲食店等コスト削減で需要
 営業企画室 青木和也氏	「券売機プロ」 から行い、LINE査定 から概算価格を提示、本 査定へと進む。回収品の う。 ス から行い、LINE査定 から概算価格を提示、本 査定へと進む。回収品の う。
今年7月の新紙幣発行による買い替え需要も、リユース参入を後押しした。既存製品の下取りと並行して新紙幣対応機種の販売を強化し、今年度	券売機はコスト削減のため中古需要が高い。一方で、オークション等で出回っている券売機の中には、業者が独自の基準で買取りを行うケースも見受けられる。営業企画室の青木和也氏は「これまで自社商品の販売・修理等で蓄積した情報を、適正価格での査定に活かすことができる。メーカーとして、市場の透明性確保に貢献していきたい」と語る。 10台ほどの販売を目標に掲げる。またオンライン精算機など、リユース商材の順次拡大を目指す。券売機の年間販売台数300台のうち、1割をリユース事業で担いたいと考えて。